

あいち産業振興機構は27日、名古屋市中区丸の内2の愛知県産業貿易館西館で「中国ビジネス事情セミナー」を開催する。

セミナーは、日本貿易振興機構（ジェトロ）名古屋貿易情報センターと共催。北京オリンピックの開幕を目前にし、好景気に沸く中国にスポットを当て

■ あいち産業振興機構が中国

た。ジェトロ北京センター次長で5年半の中国滞在経験を持つに迎え、「躍進する中国経済！の現状と今後の展望について」

シカゴ社
日本支店

高強度焼結部品を拡販

中部の車関連に照準

エンジンや
変速機用 低コストアピール

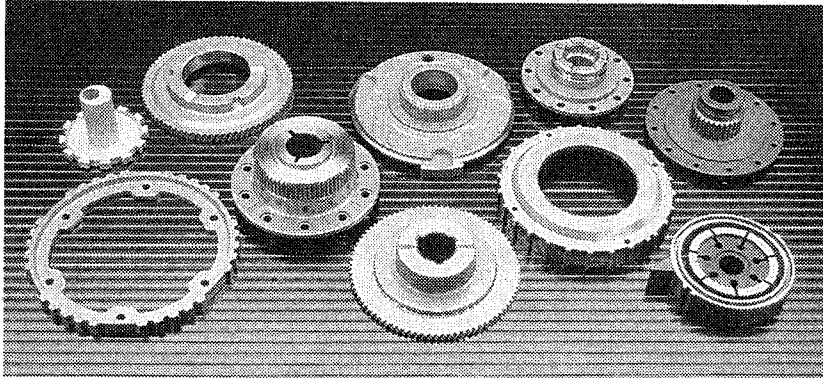
米自動車部品メーカーのシカゴ・パウグード・メタル・プロダクツ・カンパニー日本支店（名古屋市中村区名駅四ノ六ノ二三・第三堀内ビル九階、片岡義博支店長、電話052・589・7040）は、エンジン、手動・自動変速機部分の焼結金属部品を拡販する。北米市場をターゲットとする中部圏の自動車・同関連部品メーカーに対し、高強度で低コストの焼結部品の採用を促す。

（中山陽子）

シカゴ社の焼結部品は、十分な強度と低コストが強い。粉末状の金属素材と金型を熱し、圧縮する技術「ウォームコンパクション」を採用することで、部品として十分な

な強度を確保している。低コスト化のため、二次加工の工程を減らす提案も行っている。

原材料の高騰にも、一部金属の配合比率を変え、圧縮負荷を減らすことで、



ウォームコンパクション技術を採用した高強度で低コストの焼結部品

あらゆる強度の部品製造が可能となるなど、多様なニーズに 대응する技術を持つ。世界に一台だけと

いう二六五〇ト大型プレス機を持ち、大量・多品種生産の焼結部品製造体制は整っている。

（中山陽子）

だが、鍛造品は高い強度を持つ一方、高コストが課題となっている。今後、北米に照準を合わせる中部圏の自動車関連企業に焼結部品の採用を

創業は一九四八年。二

〇〇七年の売上高は前年とほぼ横ばいの約四十二億円。主要取引先はフォード・モーター、ゼネラル・モーターズ。日本支店の設立は〇七年七月。